



平成29年2月3日開催の「地下かんがい普及推進セミナー」に、
86名（農家さんほか）が、参加しました！（主催者：石狩振興局）

セミナー開催趣旨

- 石狩振興局（農務課・普及センター・調整課・整備課）では、農家戸数の減少に対応する省力化農業技術の一つとして地下かんがい有効と考え、モデル圃場を設置し効果等の調査を実施しています。
- 本セミナーで本年度の調査結果を報告し地下かんがい効果等を理解して頂くとともに、農業農村整備の効果と役割について意見交換を行い、農業農村整備の重要性を地域農業者や関係機関の方と一緒に考えることを目的に「地下かんがい普及推進セミナー」を当別町田西会館にて開催し、86名（農家さんほか関係機関の方）が参加しました。

セミナー開催会場の様子



【第1部】「地下かんがい普及推進セミナー」実施概要（13時40分～15時）



地下かんがいの必要性やこれまでの経過等について挨拶
【石狩振興局 市川部長】



本年度の地下かんがい普及推進の取組結果を報告
【石狩振興局 尾山主幹】



ほ場での給水試験や地下水調査実施結果報告【北海道農業近代化技術研究センター 高木氏】



地下かんがいが、小麦の収量・品質に及ぼす効果報告【普及センター 柴田係長】



地下かんがいが、水稻の収量・品質に及ぼす効果報告【普及センター 石澤主査】



対象物に接触せずに計測するリモートセンシング技術による分析結果を報告【北海道農政部 片桐主査】、【酪農学園大学 田中先生】



モデルほ場の協力農家さんである谷口さんと藤永さんより、暗渠排水の地下かんがいを利用して頂いた感想など、貴重な意見を報告

【第2部】パネルディスカッション実施概要（15時10分～16時30分）



<テーマ>

- 「農業農村整備の効果と果たす役割を考える」
- ・今後の農家戸数減少を見据えた省力化農業の取組
 - ・事業を契機とした6次産業化の取組

<コーディネーター>

- ・石狩振興局 岩田主幹

<話題提供：農業農村整備の効果と果たす役割>

- ・石狩振興局 尾山主幹

<パネラー>

- ・6次産業化取組農家（当別町）
 - ・ICT農業取組農家（新篠津村）
 - ・新篠津村農業協同組合
 - ・NPO法人北海道食の自給ネットワーク
 - ・石狩農業改良普及センター
- 大塚氏
高橋氏
水島課長
大熊氏
増子支所長

<アドバイザー>

- ・中央農業試験場
- 塚本主査